

被災文化財 救援フォーラム 金沢2024

文化庁
令和6年度 文化庁 Innovate MUSEUM事業

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

今年の1月1日の地震により能登半島に甚大な被害がございました。

そして、多くの貴重な文化財にも深刻な被害が発生しております。このフォーラムは、この被災文化財を救援するために現状や課題を整理することを目的としております。このフォーラムの成果が、今後の被災文化財対応に少しでも参考となれば幸いです。

2024 9/7 土 13:00-16:00

13:00

開会の挨拶 三浦 要

(金沢大学理事(企画評価・地域共創・広報戦略担当)・副学長)

13:05-13:10

趣旨説明 足立 拓朗(金沢大学資料館長)

13:10-13:55

講演①

『七尾市における文化財の被災状況について』

北林 雅康氏(七尾市教育委員会スポーツ・文化課文化財復旧保全対策室・主幹)

14:05-14:50

講演②

『能登半島地震における文化財防災センターの活動』

小谷 竜介氏

(独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター・文化財防災統括リーダー)

15:00-15:45

講演③

『熊本地震による被災古墳復旧の現状と課題』

杉井 健氏(熊本大学文学部歴史学科歴史資料学コース・教授)

15:50-16:00

全体質疑

16:00

閉会の挨拶 谷内江 昭宏

(金沢大学理事(附属病院・同窓会・大学基金担当)・副学長/能登里山里海未来創造センター長)

主催: 金沢大学資料館(事業名: 能登半島地震被災文化財デジタルアーカイブ事業)

共催: 石川県立図書館、金沢大学能登里山里海未来創造センター

後援: 羽咋市歴史民俗資料館、のと里山里海ミュージアム、中能登町ふるさと創修館、

宝達志水町埋蔵文化財センター、野々市市教育委員会、

公益財団法人石川県埋蔵文化財センター、石川県西田幾多郎記念哲学館、

石川県立自然史資料館、石川考古学研究会、金沢大学古代文明・文化資源学研究所

会場 石川県立図書館 だんだん広場

駐車場

400台/入庫後30分無料、以降30分ごとに100円。図書館利用者は入庫後3時間無料。

※周辺道路は混雑が予想されます。来館の際は公共交通機関をご利用ください。

お問合せ: 金沢大学資料館 TEL:076-264-5215 museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

のと里山里海ミュージアム
羽咋市歴史民俗資料館
中能登町ふるさと創修館
宝達志水町埋蔵文化財センター
金沢大学資料館
石川県立自然史資料館
公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
野々市市ふるさと歴史館
野々市デジタル資料館

〓 申込不要 〓
定員 140名
(先着)
どなたでも

オンライン
配信あり
(ZOOM)



北林 雅康氏

能美市出身。奈良大学文化財学科卒。専門は考古学。「文化財を身近に!」をモットーに地域に入り込んで活動中。



小谷 竜介氏

専門は文化財防災、日本民俗学。東北歴史博物館、宮城県教育委員会を経て、令和3年より現職。



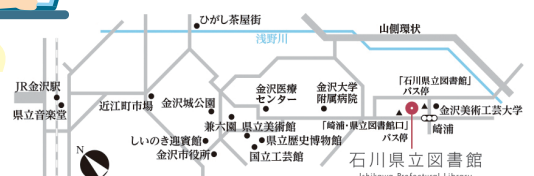
杉井 健氏

専門は日本考古学。大阪大学埋蔵文化財調査室を経て、平成10年に熊本大学へ。熊本地震被災古墳の修復検討に携わっている。

オンライン視聴は以下の
資料館 Web サイトから
接続してください。



<https://museum.w3.kanazawa-u.ac.jp/news/5282/>



石川県立図書館

Ishikawa Prefectural Library

百万石
ビブリオ
バウム

〒920-0942 金沢市小立野2丁目43番1号